

待機児童緊急対策アクションプランの進捗状況報告 ～「平成30年4月待機児童数」と「保育所整備状況」～



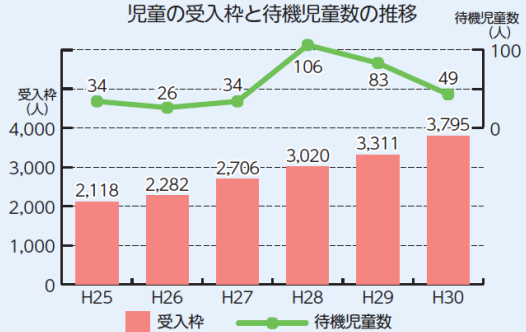
平成30年4月1日現在の待機児童数が49人となり、昨年の83人から大幅に減少しました。(県内1位の減少数)

市では、平成28年10月に策定した「待機児童緊急対策アクションプラン」に基づき、待機児童解消に全力で取り組んでいます。

平成31年4月には、新たに3園の保育所を整備し、約210人分の定員の拡大を予定しています。

今後も、定員の拡大とともに保育人材の確保・定着化、保育の質の向上にも重点的に取り組み、多面的な待機児童対策を推進していきます。

児童の受入枠と待機児童数の推移



平成31年4月開所予定の保育所 (平成30年7月現在)



主な取り組み

- ◆ 保育人材の確保・定着化 (就職支援給付金、賞与等上乘せ補助、宿舍借上支援、産学官協働による保育人材確保・定着化事業など)
- ◆ 保育の質の向上
- ◆ 幼稚園の長時間預かり保育の推進など

問い合わせ▶
保育幼稚園室 (内線677)

待機児童緊急対策アクションプラン【平成28年10月策定】

申込者児童数(平成31年4月)の修正とそれに伴う受入枠の見直しについて(概要版)

【今後の基本的な取り組み姿勢】

一定の定員枠拡大は堅持しつつ、量から質への転換を図る

① APの進捗と待機児童数

	受入枠拡大	実績	待機児童数
平成28年度	約 25	25	106
平成29年4月	約 240	241	83
平成30年4月	約 550	540	49
平成31年4月	約 385	—	—
合計	1,200	806	—

② 就学前児童数の現計画と実績との乖離

現計画で推計している就学前児童数と実績を比較すると乖離が発生。
(平成30年4月)

9,617人 → 8,973人(▲644人)

現計画 実績

(平成31年4月推計)

9,806人 → 8,915人(▲891人)

現計画 (再)推計値

③ 申込者児童数の再推計

再計算して得られた就学前児童数に、これまでの実績を踏まえ、**申込率(43.37%)**を乗じて、保育所申込者児童数を再推計。

(平成30年4月)

3,943人 → 3,533人(▲410人)

現計画 実績

(平成31年4月推計)

4,217人 → 3,866人(▲351人)

現計画 (再)推計値

④ 受入枠の見直し

②③を踏まえ、現アクションプランで推計している平成31年4月の受入枠を見直し。

385人 → 285人(▲26%)

※今後は**新たなアクションプランは策定せず**、32年度始期の「子ども・子育て支援事業計画」の中で方針を策定。

⑤ 計画修正による財政影響

100人分の受入枠を減じた場合の財政影響は、

約100,000千円

※平成30年度保育所等施設整備事業費

・当初予算(一般財源) 261,708千円

⑥ 市長公約の担保(保育の質の創造)

先進的な子育て支援策を後退・減速させることなく、さらに新保育所保育指針の改定趣旨を踏まえた多面的な保育を推進。

量 → 質

※市長公約のうち、
・戸田型15年教育の推進
・異次元の待機児童対策の推進
+ 幼児教育無償化への体制整備の構築

保育人材確保・定着化事業について

1 「とだの保育創造プロジェクト会議」について

(1) 目的

長期的・安定的な保育人材の確保や定着化を図り、質の高い保育を続けていくには、園単独の取り組みだけでも経済的支援だけでも限界があることから、産学官協働により課題の共有・解決のための具体的方策の企画・実践を行うことで、戸田市の保育全体を魅力あるものとしていく。

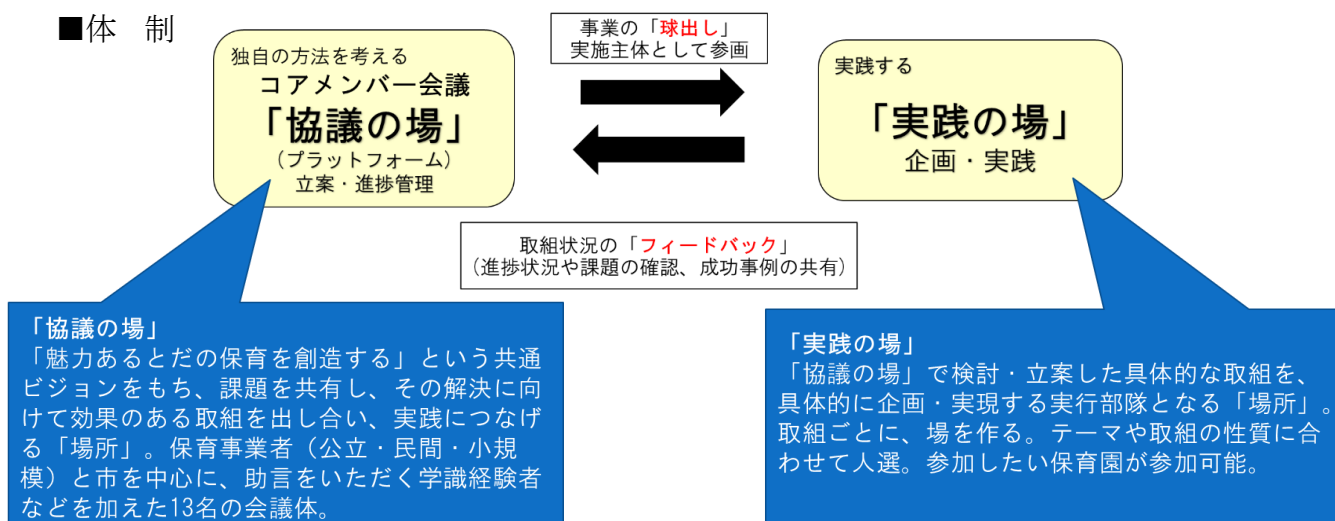
(2) 手法

■テーマ

下記の3つのテーマに沿って協議を行い、保育士の処遇改善、質の向上等について具体的な取組を実践する。

- ①保育人材の確保
- ②保育人材の定着化
- ③戸田市の保育の魅力アップ

■体制



■スケジュール

平成 30 年 8 月 2 日 キックオフイベント、第 1 回協議の場実施

協議の場：年 3 回程度実施（10 月、2 月頃を予定）

実践の場：協議の場で提案された事業毎に設置。

例) ハローワークとの共催による合同就職面接会（平成 30 年 12 月 16 日開催予定）

(3) 期待する効果

協議の場で課題を共有し、実践の場で各保育園が取り組みを行うことで、各園での課題解決、人材確保、連携強化が期待できる。

また、各園が魅力的で、働きやすく、質の高い保育を行うことで、保育士にも保護者にも選ばれる保育園となる。

このことは、戸田市の保育全体の魅力向上へとつながる。

2 宣伝事業

- ①「Yahoo!ディスプレイアドネットワーク」(略称:YDN)と「Google Display Network」(略称:GDN)を利用した保育士確保PR

ターゲティングしたユーザーに対してYahoo!やGoogleのディスプレイにバナー広告を掲載することで、市ホームページ内の専用ページに誘導し、市内の私立保育園で働くメリットや戸田市の魅力等を発信し、保育士の確保を図る。

なお、本事業は政策秘書室が所管するインターネット広告の掲載の一環で実施するものである。

- ・掲載期間 10月～12月頃(調整中)



(①イメージ)



(②イメージ)

- ②イオン北戸田店のフードコートビジョンを活用した保育士確保等のPR

- ・画像概要 「保育士就職支援給付」等のPR
- ・掲載期間 10月～12月
1サイクル9分間のうち15秒間
- ・場所 イオン北戸田店 2階フードコートの柱のビジョン(3台)

- ③戸田市保育士募集案内「TODAYs 保育日和」

独自のリーフレットを作成し、市の補助制度や市独自のスキルアップ研修、相談体制等、市内私立保育園で働く3つの魅力を紹介。戸田市の紹介や保育園の一覧も掲載。

リーフレットは市ホームページで公開している他、市内公共施設、全国の保育士養成校、就職フェア等で配布している。



(③イメージ)



3 保育の休日相談

制度改正や多様化する保育ニーズに等により、様々な悩みを抱える保育士からの相談が急増していることを受け、平成30年6月から下記のとおり「保育の休日相談」を実施している。

今後も戸田市独自の相談体制をさらに強化し、保育の現場や保育士個人だけでは解決できない悩みを市も共有し、共に考えていく。

相談日：毎月第1日曜日（市役所の日曜開庁日） 午前9時～午後4時30分

場所：市役所保育幼稚園室

対応者：保育アドバイザー・保育士・看護師等

※月曜日から金曜日も午後8時30分から午後5時15分まで随時相談を受付。

■平成30年度相談実績

	保育関係者等からの 問い合わせ・相談	市民・保護者からの 問い合わせ・相談	合計相談件数
4月	30	10	40
5月	35	22	57
6月	36	19	55
7月	32 (2)	10 (1)	42 (3)
8月	25	16 (2)	41 (2)
合計	158 (2)	77 (3)	235 (5)

() は内、休日相談件数。

平成30年8月末現在

戸田市保育士緊急確保・定着促進事業補助金の概要

1 事業目的

全国的に保育士確保が困難な状況の中、市内の新設保育園だけでなく、既存の民間保育園においても、最低基準上、必要な保育士が確保できない恐れが生じるなど、保育運営に支障をきたす危険性が年々高まっている。このような緊急事態を受けて、市内私立保育所等に勤務する常勤保育士に対し、市独自の賞与を支給することで、保育士の安定確保と定着化を図るとともに、待機児童対策の推進と保育の質の維持・向上を図ることを目的とする。

2 事業内容

(1) 補助対象者

補助対象保育士に賞与として年間20万円の上乗せ支給を行った保育事業者（委託事業者は除く）

(2) 補助対象保育士

常勤保育士として、各年度10月1日以前に採用され、12月1日現在で戸田市内私立保育所等に勤務する常勤保育士（みなし保育士となる保健師、看護師及び准看護師を含む）

※戸田市内私立保育所等・・・認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所A型及びB型、事業所内保育事業所A型及びB型

※常勤保育士・・・一日6時間以上、かつ、月20日以上勤務する保育士
施設長及びみなし保育士（看護師・准看護師）含む

※設置法人に直接雇用されていることを要件とする

(3) 補助単価

補助対象保育士1人につき年間20万円

(4) 実施期間

平成30年度から平成34年度までの5年間